

# 目次

## 1. 職長の役割 ..... 4

1. 職長の任務  
「安全衛生の鍵」のポイント

## 2. 監督及び指示の方法 ..... 7

- 毎日の安全施工サイクル 職長 はこうする

  1. 監督及び指示とは
  2. 監督力
  3. 監督の方法
  4. 指示の方法
  5. 指示の仕方
  6. よい人間関係の形成
  7. リーダーシップ
  8. 職長としての心がまえのポイント

## 3. 指導及び教育の方法 ..... 14

1. 指導・教育とは
2. 方法
3. 指導・教育の効果を高めるには
4. 指導教育の 8 原則
5. 教育の 4 段階法
6. 職長としての心がまえのポイント

## 4. 作業手順の定め方 ..... 20

1. 作業手順とは
2. 作業の標準化がなぜ必要か
3. 作業手順の定め方
4. 非常時の対応手順について
5. 職長としての心がまえのポイント

## 5. 作業方法の改善 ..... 26

1. 作業方法の改善とは
2. 作業方法改善の流れ
3. 作業方法改善の 4 段階法
4. 改善のためのチェックポイント
5. 職長としての心がまえのポイント

## 6. 作業者の適正な配置の方法 ..... 32

1. 適正な配置とは
2. 適正な配置のやり方
3. 人員配置にあたって知っておくこと  
特に配慮すべき事項
4. 職長としての心がまえのポイント  
(参考) 労働安全衛生法に基づく資格一覧

## 7. 作業設備の安全化 ..... 40

1. 設備・機械の本質安全化とは
2. 本質安全化への指向
3. 設備・機械安全化のための基本的事項
4. 設備・機械安全化の要点
5. 職長としての心がまえのポイント

## 8. 環境改善方法と環境条件の保持 ..... 46

1. 環境条件の保持とは
2. 環境条件と健康障害
3. 予防対策
4. 健康障害
5. 作業環境管理、作業管理、健康管理
6. 作業環境改善の具体的な方法
7. 整理・整頓のすすめ方
8. 快適な職場づくり
9. 職長としての心がまえのポイント

## 9. 安全衛生点検 ..... 54

1. 安全衛生点検とは
2. 種類
3. 実施と記録
4. 安全衛生点検の方法
5. 職長としての心がまえのポイント

---

## 10. 異常時における措置 …………… 62

- 1.異常とは
- 2.考えられる欠陥
- 3.異常の主な例
- 4.職長としての心がまえのポイント

---

## 11. 災害発生時における措置…………… 66

- 1.災害発生時における措置とは
- 2.緊急措置
- 3.災害発生時の留意事項
- 4.日常の留意事項
- 5.災害事例研究の手順（図参照）
- 6.職長としての心がまえのポイント

---

## 12. 労働災害防止についての関心の保持と作業者の創意工夫を引き出す方法 …………… 70

- 1.労働災害防止についての関心の保持とは
- 2.ヒューマン・エラーについて
- 3.職場における安全衛生活動の進め方
- 4.職長が活動を進めるための留意点
- 5.職長としての心がまえのポイント
- 6.創意工夫とは
- 7.作業者から安全衛生の創意工夫を引き出す具体的な方法
- 8.創意工夫の活用
- 9.職長としての心がまえのポイント

---

## 13. 危険性又は有害性等の調査及び結果に基づき講ずる措置 …… 78

- 1.リスクアセスメントとは
- 2.リスクとは
- 3.リスクの見積り・評価
- 4.リスクアセスメントの手順

---

## 14. OSHMS と職長の役割…………… 82

- 1.OSHMS とは
  - 2.OSHMS の特徴
  - 3.OSHMS の骨子と運用
  - 4.職長と OSHMS とのつながり
- (参考) 安全衛生法等に示す作業環境測定事項